

一キケン！一私立巖荘
高校近隣事件解決部部
活動記録！

4WD skyline

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

少女は禍を宿した存在だった。

少女はそのせいで全てを受け入れる場所から追放された。

そんな少女はとある三人組と出会う。

彼らの名前はーキケンー

これはキケンと呼ばれる何でも屋もどきの部活動のメンバーがとある少女と出会い、少女を守るため、そして幻想郷と呼ばれる異世界のために何やかんや張り切っちゃおう語。

「はあ、面倒くさいけど。貴重な依頼だし、やりますか！」

.....え？

目次

部活動は少人数だとだいたい怠けている メンバーが多い	1
-------------------------------	---

部活動は少人数だとだいたい怠けているメンバーが多い

東京都内にある私立厳荘高校。

この学校は部活動が多い事で有名な高校だ。

野球、サッカー、吹奏楽、書道などのメジャーなものから。

クリケット、アスレチック、速記、手話などの高校にしては珍しい部活も多い。

その中でも突出して特殊な部活がある。

近隣事件解決部、通称「キケン」。

主にな活動内容としては、もの探しから怪異現象の解決など幅広い生徒の悩みを解決する。いわば何でも屋に近い部活動である。

部員は

部長 吹雪 快疾

副部長 鬼頭 龍也

会計兼書記、天野 正明

の三名の男子によって構成されている。

そんな彼らは今…

「アー！B地点誰もいねえー！」

「よっしやもらったあ！」

「バーカ、嘘だよーん！」

ードガガガガン！

∴何をやってるかって？

それは

「はい、俺の勝ちー！いやーこのFPS楽しー！」

と、言う快疾の手の中にはスマホ、立ち上げられているアプリはゲーム∴。

そう、暇つぶしのためにFPS（一人称視点シューティングゲーム）をやっていたのだ？

依頼？そんなのこの部活にはそう頻繁には来ない。

ぶっちゃけて言えば暇、その上ここは部活動をしている時以外は実質ゲーム部と化している。

「グハー！快疾！テメエー、あんな嘘言つて俺を誘導するとか無しだろ！」

と、龍也叫ぶ。

「いや、引つかかる方もどうかと思うけど∴∴（笑）」

と、正明が呟く。

ちなみに三人の外見は

快疾は身長は170センチほどで細身、黒い髪に青色の目に女子にも見えなくもない顔立ちをしている。

龍也は身長180センチ超えの大柄、地毛の赤毛を逆立て、つり上がった目に、とび職にいそうな男らしい顔つきをしている。

正明は身長は160センチちよつと、と小柄で快疾と同じく黒い髪を持ち細身。眼鏡をかけている。

と、おおざっぱに言うところな感じである。

そんな彼らはまだ知らない、幻想郷と言う忘れられたもの全てを受け入れる場所と、その幻想郷から追い出された少女を巡った大きな戦いに身を投じる事を……。

…何もない。

…何で、何で私…。

…何で私が居たらいけない…。

…私は、もうこのまま？

…私、私じゃない私はどうしてるだろうか？

…あいつは私のことをこう言ってたな、

『幻想郷の全ての負を受け込んだ者』って。

?……!これは……!!? 何かが、マズイ。

籠が、外れる…。

私、が私、じゃなく、な、る。

「?!」

「どうした? 快疾」

「いや、なーんか、変な感じが……?」

そう、龍也の言葉に快疾は返す。

次の瞬間だった。

ーゾクッ!

と言う激しい寒気に快疾は襲われる。

今の時間は6時半、校庭には誰も居ないはずだが何かが居る。

そんな感覚に襲われた快疾は……

ーバンッ!

と、扉を快疾は勢いよく開け

「お、おい快疾!？」

と言う龍也の驚いた声を無視し。

「…ハア、ハア」

と、快疾は息を切らし校庭に足を踏み入れた。

校庭の周りは暴風が吹いていた。

そして、その暴風の中心にいた『それ』をみて快疾はこう言った。

「だ、誰だ……アイツ」

そこに居たのは、白い髪を持ち、白と黒を基調とした巫女服のような服を着て居る少女だった。

そこまでは良かった。

そう、彼女の片目が赤黒く澱み、そして何よりも《体全体に呪いのような模様が刻まれている》という事がなければ。

それが、少女との出会い。そしてキケン史上最大の依頼の幕開けだった。